

夏秋レタスの品種「エクシード」 (推奨品種)

(園試 高冷地用発センター)

1 来歴

昭和57年、マックタイプ(オリンピック)から耐暑性の強い系統を選抜して育成した品種である。

2 特性の概要

1) 品種特性

- (1) マックタイプの系統で高温期における結球性、品質は良く、晩抽性で耐暑性が強く、作期幅の広い夏秋作型品種である。
- (2) 球形はやや偏円で、球重400~600gとばり、揃いはユニバースと同程度である。
- (3) 結球葉の外葉及び球底葉色が濃く、ユニバースより勝る。
- (4) 球の聚りはよく、中肋の突出程度はユニバースと同じで変形球の発生は少ない。
- (5) 球芯の太さは細く、外観的品質はすぐれている。
- (6) 結球タイプは葉数型で外葉の広がり小さく密植栽培にも適する。
- (7) ベト病、斑葉病の発生は少ない。

2) 品種の育成元

日東農産種苗

3 推奨品種と採用したい理由

本県におけるレタスの作型と品種との関係は、春はマイルタス中心で、夏~初秋ビリはユニバース、オーガスターが用いられ、秋は再びマイルタスとする品種構成である。これらの作型が切り変わる時期が品質、収量性から特に問題となっているので、品質、収量性にすぐれ、作期幅の広いエクシードも加えて作型の安定化を図るため、夏秋レタス品種として採用したい。

4 適応地域および作型

1) 高冷地および準高冷地(夏~初秋ビリ作型可能地帯)

2) 適応作型

夏ビリ は種期 5月中旬~6月上旬 収穫期 7月下旬~8月下旬

マルチの使い方 9224WB

初秋ビリ は種期 6月中旬~7月上旬 収穫期 8月下旬~9月中旬

マルチの使い方 9224B

5 栽培上の留意点

- 1) 低温伸長性が弱いので春の作型には使用しない。
- 2) 地力が劣ると小球と作り易いので、ユニバースと同じ施肥量とする。
- 3) 収穫期を失うと大球(LL球)となるので適期収穫につとめる。
- 4) 株張りが小さいので密植(8,000株/10a)とし、株数確保につとめる。

6 試験成績

1) 試験方法

(1) 栽培距離 100cm x 27cm, 2条 (7407株/10a)

マルチ 4月1日, 7月10日つき 9227B, 6月10日つき, 9227WB

(2) 施肥量(kg/10a) N-15.0 P₂O₅-26.8 K₂O-15.0

